

# デジタル形複合保護継電器検査成績書 P. \_\_\_\_\_

納入先 \_\_\_\_\_

検査期日 \_\_\_\_\_

工事番号 \_\_\_\_\_

形 式	NS-3B20H-D	[過・不足電圧要素]	[地絡過電圧要素]
動作原理	デジタル	定格電圧：110V cont. 整定範囲：59：120～150V 59T：0.5～5.0s 27：60～90V 27T：0.5～5.0s	定格電圧：110V/190V cont. 整定範囲：64V：5～60V 64VT：0.5～5.0s
準拠規格	JEC 2500 JEC 2511		
制御電圧	DC 110 V	製造番号	定格周波数 <span style="float: right;">Hz</span>

**試験項目・試験結果**

温度 \_\_\_\_\_ °C      湿度 \_\_\_\_\_ %

試験項目	試験記録	結果
構造検査	外観・構造・表示事項及び塗装	
絶縁抵抗試験	回路一括～外箱間：10MΩ以上（規格値）	
耐電圧試験	回路一括～外箱間：2.0kV 60Hz 1分間	
特性試験	（注）下記項目の試験を実施する。	

[過電圧要素]      # \_\_\_\_\_

1. 動作値

整 定	120V	150V	判 定 基 準
動作値	V	V	各整定の±5%以内

2. 動作時間      （試験条件）動作値整定：最小，入力：0→整定の120%急変

整 定	0.5s	2.0s	3.5s	5.0s
動作時間	s	s	s	s
判定基準	±2.8%以内	±3.5%以内	±4.3%以内	±5%以内
	最大整定値の $\pm \frac{5}{2} \left(1 + \frac{n}{100}\right)$ (%)      n:最大整定に対する%			

※ 実測動作時間の誤差計算式は地絡過電圧要素を参照下さい。

[不足電圧要素]      # \_\_\_\_\_

1. 動作値

整 定	60V	90V	判 定 基 準
動作値	V	V	各整定の±5%以内

2. 動作時間      （試験条件）動作値整定：最大，入力：110V→整定の70%急変

整 定	0.5s	2.0s	3.5s	5.0s
動作時間	s	s	s	s
判定基準	±2.8%以内	±3.5%以内	±4.3%以内	±5%以内
	最大整定値の $\pm \frac{5}{2} \left(1 + \frac{n}{100}\right)$ (%)      n:最大整定に対する%			

※ 実測動作時間の誤差計算式は地絡過電圧要素を参照下さい。

承認	作成

製造番号

[地絡過電圧要素] # \_\_\_\_\_

## 1. 動作値

整定	5V	60V	判定基準
動作値	V	V	各整定の±5%以内

## 2. 動作時間 (試験条件) 動作値整定：最小，入力：0V→整定の150%急変

整定	0.5s	2.0s	3.5s	5.0s
動作時間	s	s	s	s
判定基準	±2.8%以内	±3.5%以内	±4.3%以内	±5%以内
	最大整定値の $\pm \frac{5}{2} \left(1 + \frac{n}{100}\right)$ (%) n:最大整定に対する%			

注1) 実測動作時間の誤差計算式

注2) 動作時間の判定基準は最大整定に対する誤差率を示す。

$$\varepsilon = \frac{T_n - T_{10} \times n / 10}{T_{10}} \times 100\%$$

T10：基準動作時間整定での公称動作時間

Tn：動作時間整定nにおける実測動作時間

$$n = \frac{\text{動作時間整定}}{\text{基準動作時間整定}} \times 10$$

[共通項目]

## 1. 負担

判定基準：公称値の110%以内

回路	定格	公称値	測定値	測定値	結果
PT2次回路	110 V	0.1 VA	mA	VA	
PT3次回路	Vo	110/190 V	0.3 VA	mA	VA
制御電源	110 V	5 W	mA	W	

## 2. 制御電源開閉試験

制御電源電圧の開閉及び、緩慢な電源変動で誤動作なき事

結果

## 3. 動作表示

LEDが表示する事

結果

## 4. ボタン操作

ボタン操作に従って動作する事

結果